

霧島市ふるさと創生有識者会議委員からのご意見

資料1

施策	ご意見
施策1-1	<p>①ゲンセン霧島の知名度を上げるために、主観光地で観光客の訪問率の高い日や場所(空港、霧島神話の里、霧島温泉市場、大規模宿泊施設など)で試飲販売を積極的に行う。(企業主の判断によるものも多いにあると思うが)</p> <p>②観光宿泊施設やレストランなどで霧島産農林水産物を使用してる場合、産地を明示しアピールする。</p>
施策1-2	<p>①農地借ります、買いますの看板を見かける。農業の大規模化やIT化を進め、効率化できた部分で希少野菜や果物付加価値野菜の栽培(無農薬や有機栽培など)を増やし、収入の増加を実現を目指す(5Gを取り入れた農業の推進)</p> <p>②“じょうもん市場”や“よいやんせ”など、生産者直営の販売所などをマップ化して利用者を増やす。</p> <p>③霧島産の農林水産物を使った一品料理のコンテストを高校生対象に開催する。高評価の作品はレシピを公開したり、観光宿泊施設での一品として出したりして商品化し、知名度を上げる。</p>
施策1-3	<p>モノ消費からコト消費への変化に対応するモデルコースをつくる。</p> <p>①五感ツーリズムは、体験型旅行のモデルコースを作りアピールする。民泊施設も利用できると思う。例えば、農家滞在で農作物収穫と郷土料理や郷土菓子作り。</p> <p>②霧島連山山印張のイベントは、県外からの参加者も多かったと思う。登山愛好者、自然愛好者に向けて、短期間で制覇コース、5～7日マイペースコース、1日1山ゆったりコースなど、季節ごとの魅力を発信してリピーターを増やすなど1年を通じて参加できるようなモデルコースを提示する。参加者フォトコンテストなどで、入賞者の写真でカレンダーを作りプレゼントする。</p> <p>③霧島連峰でトレイルランニングのモデルコースを提案し、SNSなどで発信する。</p> <p>④バリアフリーで温泉旅行ができる宿泊施設のアピールや、霧島産野菜を主にしたベジタリアンメニューの宿泊コースなどをつくる。</p> <p>⑤自然の中での瞑想、ヨガなど。(一滞在で海でも山でも体験できる環境にあると思う)</p>
施策1-3	<p>昨年10月～11月に開催された霧島巡レイ!ぎゅぎゅっとARスタンプラリーを季節ごとや、観光客の少ない時期に実施し、若年層の旅行客を増やす。その観光スポットの案内に多言語QRコードを追加し、宿泊施設などで掲示し海外からの観光客に参加を促す。</p> <p>今は、SNSなどで注目されただけで訪れる人の数が圧倒的に増えていく時代。どうしたら、そのようにできるのか、何がきっかけになるかは、既存の発想では思いつかないことが多いように思うので、それらをZ世代に聞けるような機会をつくる。</p>
施策1-3	<p>霧島神宮が国宝に指定されたことを受けて、神話の里や神水峡にある既存のキャラクターをもっと生かす。キャラクターをお土産品などに印刷したり、キャラクターシールを貼ったりする。</p> <p>天孫降臨神話を題材に歌や踊り、日本タオル(天孫降臨の系譜図などを印刷した)などをつくる。歌や踊りなどは、宿泊施設や主観光地で映像で流す。神話は日本の成り立ちに関わる重要なストーリーなので、霧島市住民自体も誇りを持ってPRするべき。</p> <p>日本合同神話サミットなど、神話がある街の人が参加する全国イベントなどを開催する。</p>
施策1-4	<p>高齢者の免許返納を促すためにも地域公共交通のさらなる充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小型バス・乗り合いタクシー等の利用 ○バス停の増設 ○中心部以外の地域の開発(国分の中心に集まりすぎている)
施策2-2	<p>霧島市は、細かくゴミ分別をしてるように思うが、環境省のデータなどを見ると、リサイクル率は高いとは言えないと思う。実際、高いリサイクル率を実現している街がある。霧島市において現在、出来ていることと出来ていないことを具体的に挙げて、市民に呼び掛けていく必要がある。</p> <p>①市の広報誌にゴミを減らすアイデアやコツなどポイントを掲載する。</p> <p>②ゴミの減量化やリサイクルは、地球の資源を長期的視点で捉える必要があるので、その基本的な考え方など保育園から教育していく。</p> <p>③ゴミの分別やリサイクルすることによって、次世代にどんな利点があるのかも提示する。</p>
施策3-1	<p>鹿児島市内まで行かなくても治療が受けられるような医療体制を構築する。</p>
施策3-2	<p>地域全体で子育てを支援する環境づくりとして、近隣の高齢者の参加を促す。(有資格者だけでは、運営が難しい場合、見守り役や補助者として高齢者は適任ではないかと思う。1時間300円の定額で高齢者参加型で子供を預かる自治体の例がある)</p>

霧島市ふるさと創生有識者会議委員からのご意見

資料1

施策	ご意見
施策4-1	特別な支援・配慮が必要な児童をサポートするために、 ①民間(地域)の人の活用 ②不登校の子どもの居場所の充実を進める。
施策4-3	全国的に知名度が上がるようなスポーツイベントを開催する。 天降川ふるさとの川河川公園で桜島、霧島連峰を見ながらのペアマラソンを親子または、多様なパートナーと参加できるイベントなど。 春山グラウンドをもっと有効活用する。 安い金額で芸術に親しめるような助成金を検討する。
施策5-3	今後はZ世代の人々が社会を支えていくと言われている。中学生や高校生に意見を聞く機会は作られているが、Z世代にも市に対する考え方や意見を聞く機会を増やし、今後の街づくりやイベント構成などに生かして行ったらいい。 ①どういう街なら住みたいか？ ②どういう環境があれば霧島市に住み続けたいか？ ③どんな働き方をしたいのか？ ④観光客になったら、どんなところに行きたいか？ ⑤国内外からのインバウンドを増やすにはどうしたらいいか？など
施策6-1	行政の手続き、会場の予約がネットでできるようにする。